



国立がん研究センター  ganjoho.jp

つくるを支える 届けるを贈る『がん情報ギフト』プロジェクト

活動報告書 2020年度

(2020年8月1日~2021年7月31日)

2020年度「がん情報ギフト」の寄付収支、および取り組みについてご報告いたします。

目次

●ごあいさつ.....	1
●ご寄付ご芳名.....	1
●寄付金のご報告.....	2
●CLOSE UP! 2020.....	3
●1年間の活動成果：寄贈品・寄贈数.....	5
●「がん情報ギフト」に寄せられた利用者の声.....	5
●2020年度寄贈館一覧（2020年8月～2021年7月）.....	6
●2020年8月～2021年7月寄贈館：寄贈先の紹介.....	8
●巡回図書「身近にがんを考える」展示キット.....	11
●図書館・行政・病院の連携による市民への情報提供の充実に向けた取り組み.....	13
●寄付プロジェクト普及に向けた取り組み.....	17

● ごあいさつ

皆さまの深いご理解と温かいご支援を賜り、2017年7月より展開している「がん情報ギフト」プロジェクトにおいて、今年度は2つの出来事がありました。

1つ目は、2021年2月1日よりプロジェクト名を「つくるを支える 届けるを贈る」に変更し、事業を拡充させたことです。これまでの「届けるを贈る 届けるを支える」では、がんの冊子などの資料セット「がん情報ギフト」を全国の図書館へお届けすることを中心に活用させていただいておりましたが、「つくるを支える 届けるを贈る」において、「情報の作成」にも活用させていただくよう変更させていただきました。

2つ目は、「がん情報ギフト」寄贈館数が、本年6月にて全国47都道府県で累計505館となり、目標としていた500館を達成したことです。その間、寄贈館と近隣のがん相談支援センターとの連携が育まれる事例も生まれ、「がん情報ギフト」を介した“つながり”が徐々に広がってきております。今後はより小さな館への寄贈、すでに寄贈した館への継続的な支援に力を入れ、それぞれの地域の実情にあわせた情報発信基地となっていただけよう、支援活動を進めていきたいと考えています。

「確かな」「わかりやすい」「役に立つ」がんの情報をつくり、すべての人が身近な場所で、それらの情報を得られる地域づくりに向けて、事業をさらに前進してまいります。“がん情報ギフトサポーター”として、今後とも皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



2021年10月
国立がん研究センターがん対策研究所
事業統括 若尾 文彦

● ご寄付ご芳名

つくるを支える 届けるを贈る『がん情報ギフト』プロジェクトにご寄付をいただいた皆さまに、感謝の意を込めて、お名前を掲載させていただきます。

●ご寄付いただいた期間：2020年8月1日～2021年7月31日

●法人・団体（順不同）-----

株式会社アスワン 様
ポポメリー 様
住友生命保険相互会社 様

緩和ケア推進コンソーシアム 様
株式会社ヴィアックス 様
インケア株式会社 様

●個人（受付順）-----

内田 哲也 様
日向 良和 様
岡田 隆 様
宮本あゆみ 様
村本 高史 様

吉岡真紀子 様
斎木 直子 様
伊藤 雅代 様
北井あゆ美 様
他44名（※つながる募金13件を含む）

●がん情報ギフト連携プロジェクト(2019/2020年度医療機関助成)-----

公益財団法人正力厚生会 様

※掲載にご承諾いただいた方のみ、お名前を掲載しております。

※漢字につきましては、表示が困難な場合、常用漢字に置き換えて掲載している場合がございますので、ご了承ください。

● 寄付金のご報告

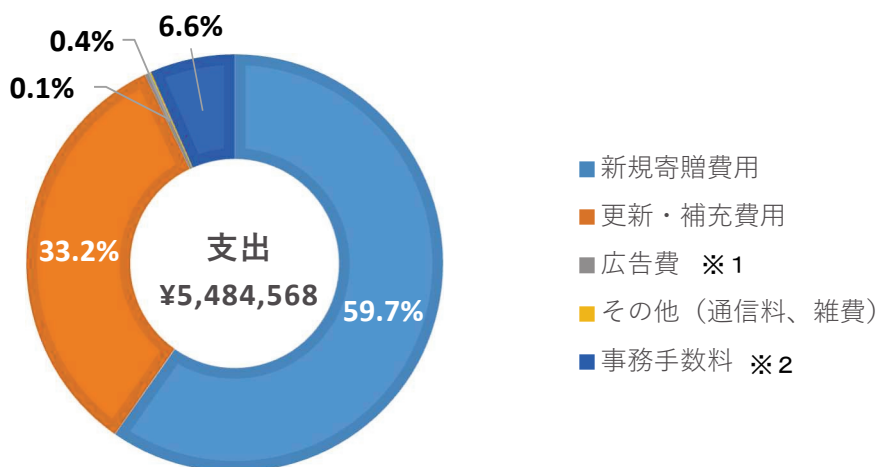
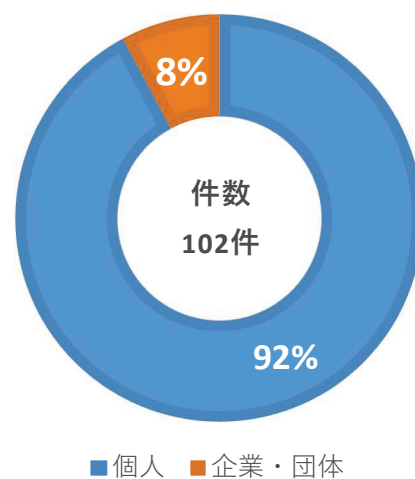
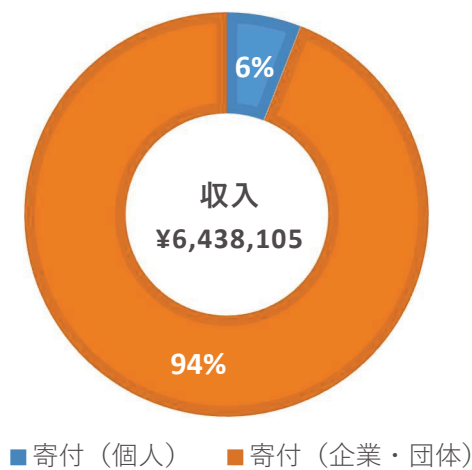
*2020年度（2020年8月1日～2021年7月31日）

収入の部	金額（単位：円）	支出の部	金額（単位：円）
寄付収入（個人／企業・団体）	6,438,105	支出合計	5,484,568
前年度繰越金	2,914,761	次年度繰越金	3,868,298
合計	9,352,866	合計	9,352,866

※支出（円）に2021年9月期の金額は含んでおりません。

※「がん情報ギフト連携プロジェクト」事業助成による新規寄贈(57館)、更新・補充用資料提供、巡回展示、「身近に考える」展示キット、図書館－がん相談支援センター連携ワークショップは別途会計のため、収入・支出金額には含んでおりません。

寄贈館情報	
新規寄贈館：140館	冊子の更新対象館：2021年6月期までの寄贈全館（505館）



※1 ご寄付いただいた企業様と広告を掲載することを申し交してありましたため、その企業様からのご寄付のうち、所定の金額を広告費として使用しました。

※2 寄付金額が10万円以上の場合に限り、国立がん研究センター寄付取扱規程第8条に基づき、寄付金額の10%を当センター全体の事業のために活用させていただいております。

CLOSE UP! 2020

達成と次なるステージへ…2020年度は大きな節目の年度となりました。
がん情報ギフトの主要なトピックスを紹介します。

がん情報ギフト寄贈 500 館達成！

2021年6月、「がん情報ギフト」の寄贈館が累計全国47都道府県、合計505館となりました。

2017年7月の「がん情報ギフト」プロジェクト開始以来、500館へお届けすることを目標にまいりました。2020年度からは特に、島嶼部や情報が届きにくいとされる町村地域などにも力点を置いてお届けしています。

「患者・家族・市民のためのがんの情報をつくり、届ける」ことを目的とする「がん情報ギフト」プロジェクト。「確かな」「わかりやすい」「役に立つ」がんの情報をつくり、つくられたがんの情報をいつでもどこでも得ることができ、地域のがん相談支援センターにもつながれるような環境づくりに向けて、今後も活動を展開してまいります。



「がん情報ギフト」寄贈時期



がん情報ギフトは新たなステージへ！

2017年7月のプロジェクト開始から3年が経過し、2021年2月1日よりプロジェクトの拡充・変更を行いました。新たなプロジェクト名は「つくるを支える 届けるを贈る」。従来の「届けるを贈る 届けるを支える」では主に「図書館への寄贈」に活用していたご寄付を、今後は「情報の作成」にも活用させていただきます。また、情報拠点が不足すると考えられる地域への寄贈と、より一層の資料の更新と充実にも取り組んでまいります。

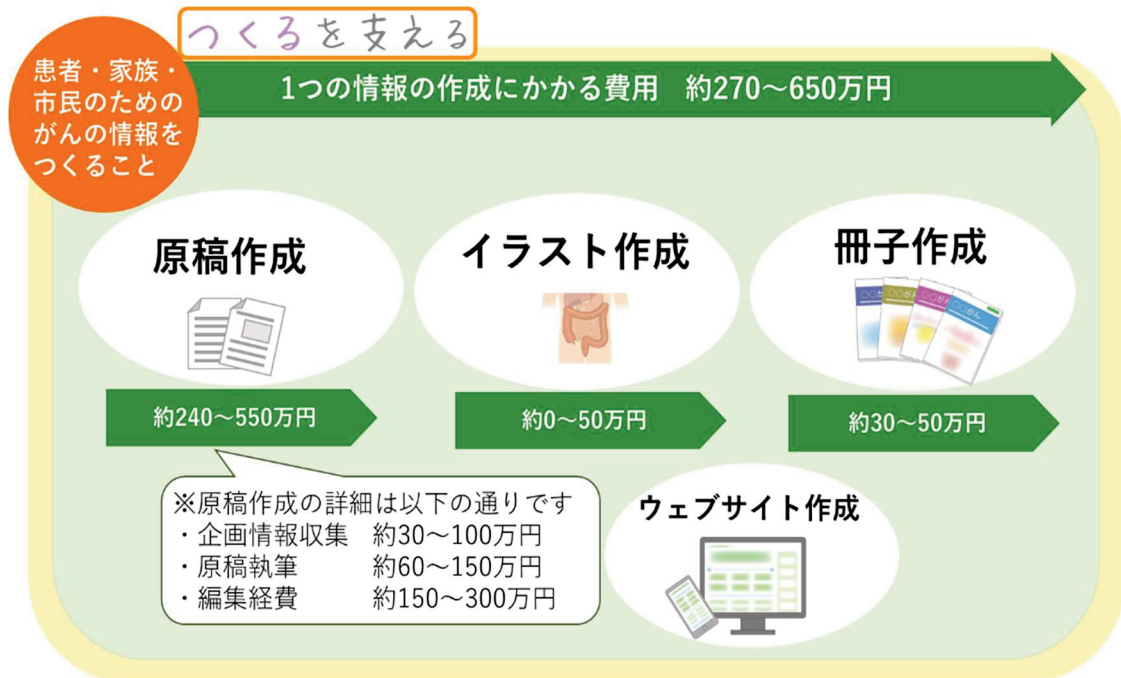
がん情報ギフトの2つの取り組み

当プロジェクトでは、「患者・家族・市民のためのがんの情報をつくり、届ける」ことを目的とし、がん情報を「つくるを支える」、作成された情報を寄贈品として全国の公共図書館等に「届けるを贈る」の2つの取り組みを支援しています。

「確かな」「わかりやすい」「役に立つ」がんの情報をつくり、つくられたがんの情報をいつでもどこでも得ることができ、さらに地域のがん相談支援センターと繋がることのできるような環境づくりを目指します。

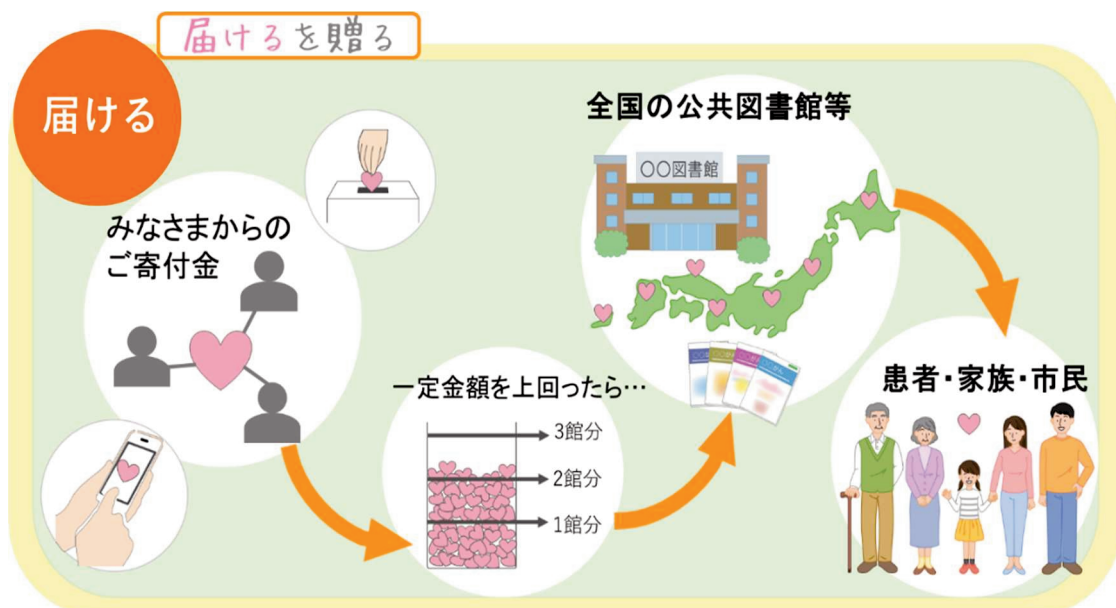
① 『つくるを支える』

がん対策研究所が運営している「がん情報サービス」では、さまざまながんに関する情報を収集・分析・整理し、信頼性などを評価した上で、情報を提供しています。提供している情報は、企画・情報収集・原稿やイラスト・冊子の作成・評価・公開などのさまざまな工程があります。「つくるを支える」では、情報づくりの基盤を支えています。



② 『届けるを贈る』

公共図書館は誰でも無料で利用できる情報の宝庫で、大きな医療機関のない小さな市町村にも多数設置されています。「届けるを贈る」では全国の図書館等に、がん対策研究所がん情報サービスが発行するがんに関する資料の寄贈を支えています。



● 1年間の活動成果：寄贈品・寄贈数

● 寄贈品「がん情報ギフト」

がんに関する資料セット 35,000 円相当

【内容】

- ・「がんの冊子」(閲覧用冊子 33 種、配布用冊子 8 種)
- ・ちらし 1 種
- ・冊子用バインダー
- ・配架用ラック



「がん情報ギフトセット」

● 寄贈数 2020 年度 (2020 年 8 月～2021 年 7 月)

全国 37 都道府県の計 140 図書館に寄贈しました。また、2020 年 6 月までに寄贈した図書館には、更新された冊子をお届けしました。

● 「がん情報ギフト」に寄せられた利用者の声

図書館で「がん情報ギフト」と出合った方から、たくさんの感謝の声が寄せられています。

患者の方だけでなく、患者のご家族やご友人など、このギフトを手にとられた方の立場や想いはさまざまです。寄せられた声の中から、一部をご紹介します。

とても分かりやすくまとめてあるので、中学生でも読めると思い、いただいた冊子を勤務する中学校の保健室前に置きました。手に取ってくれる生徒もいました。(福島県・女性)

最新の情報がコンパクトにまとめられていてよかった。(広島県・男性)

図書館なら誰にも気にしないで情報が入手できる。(広島県・女性)

「もしも、がんと言われたら」の冊子にあった「患者さんの手記」が参考になりました。多くの本が配置されているなか、療養に向けた情報収集のスタート地点として、ここなら安心できるなと思いました。(愛知県・男性)

分かりやすく、分量もちょうどよく書かれてあり、とても理解できた。(静岡県・女性)

主治医への具体的な質問内容を考えるヒントになりました。とても参考になり、手元に一冊欲しいです。(鹿児島県・男性)

● 2020年度寄贈館一覧（2020年8月～2021年7月）

北海道	池田町立図書館	(東京都)	墨田区立八広図書館	京都府	福知山市立図書館
	むかわ町立穂別図書館		足立区立江北図書館	大阪府	枚方市立中央図書館
青森県	青森市民図書館		江東区立東大島図書館		吹田市立千里図書館
	八戸市立図書館		神津島村図書館		吹田市立健都ライブラリー
	弘前市立弘前図書館		八丈町立図書館		枚方市立楠葉図書館
	つがる市立図書館		羽村市図書館		柏原市立国分図書館
	八戸市立南郷図書館		福生市立中央図書館		守口市立図書館
岩手県	一戸町立図書館		稲城市立中央図書館	兵庫県	猪名川町立図書館
	北上市立中央図書館		西東京市谷戸図書館		いちかわ図書館
	一関市立花泉図書館		大島町図書館		三田市立図書館ウツェイタウン分館
宮城県	栗原市立図書館		新島村住民センター図書室		尼崎市立北図書館
	蔵王町立図書館		奥多摩町立古里図書館		豊岡市立図書館
	登米市立登米図書館		練馬区立春日町図書館		西宮市立中央図書館
山形県	川西町立図書館	新潟県	三条市立図書館		尼崎市立中央図書館
	上山市立図書館		加茂市立図書館		宝塚市立中央図書館
	村山市立図書館		村上市立中央図書館		南あわじ市立図書館
	長井市立図書館		長岡市立中央図書館	奈良県	御所市立図書館
	遊佐町立図書館		五泉市立図書館	和歌山県	紀の川市立河北図書館
茨城県	土浦市立図書館		柏崎市立図書館	鳥取県	倉吉市立図書館
栃木県	那須塩原市図書館みるる	石川県	加賀市立中央図書館		南部町立天萬図書館
群馬県	藤岡市立図書館		七尾市立図書館	岡山県	倉敷市立中央図書館
	桐生市立図書館		珠洲市民図書館		あわくら図書館
	伊勢崎市図書館		羽咋市立図書館		笠岡市立図書館
埼玉県	川口市立中央図書館		輪島市立図書館	広島県	大崎上島町文化センター情報プラザ・エル
	富士見市立中央図書館	福井県	勝山市立図書館		広島市立西区図書館
	秩父市立秩父図書館		大野市立図書館	山口県	萩市立萩図書館
	小鹿野町立図書館		越前市中央図書館		柳井市立柳井図書館
	三郷市立早稲田図書館	山梨県	身延町立図書館		山口市立中央図書館
	狭山市立狭山台図書館	岐阜県	郡上市図書館		山口市小郡図書館
千葉県	富里市立図書館		美濃加茂市東図書館	徳島県	吉野川市立鴨島図書館
	大多喜町図書館		中津川市立図書館		小松島市立図書館
東京都	檜原村立図書館	静岡県	牧之原市立図書交流館	香川県	高松市中央図書館
	青ヶ島村図書館	愛知県	高浜市立図書館		男木島図書館
	日の出町立図書館	三重県	伊勢市立伊勢図書館		小豆島町立図書館
	小笠原村地域福祉センター父島図書室		津市久居ふるさと文学館	愛媛県	内子町図書館情報館
	三宅村立図書館		津市津図書館		八幡浜市立市民図書館
	墨田区立立花図書館		木曾岬町立図書館		松山市立中央図書館
	品川区立品川図書館		鳥羽市立図書館		西条市立丹原図書館
	品川区立大井図書館		志摩市立図書館		簡野道明記念吉田町図書館

福岡県	中間市民図書館	長崎県	佐世保市立図書館	(宮崎県)	西都市立図書館
	宇美町立図書館		長崎市立図書館	鹿児島県	始良市立中央図書館
	春日市民図書館		松浦市立図書館		薩摩川内市立図書館
	太宰府市民図書館		対馬市立つしま図書館	計 37 都道府県 140 館	
	田川市立図書館		南島原市有家図書館		
	直方市立図書館		平戸市立平戸図書館		
	北九州市立八幡図書館		諫早市立諫早図書館		
	久留米市立中央図書館	大分県	豊後高田市立図書館		
佐賀県	嬉野市嬉野図書館		臼杵市立臼杵図書館		
	唐津市立図書館	宮崎県	宮崎市立図書館		



皆さまのご寄付により、2020年度も多くの公共図書館に「がん情報ギフト」をお届けすることができました。世の中にがんに関するさまざまな情報が溢れるなか、「がん情報ギフト」は、がん対策研究所が科学的根拠に基づき作成している冊子のセットであることから、がんが疑われている方やがんと診断を受けた方、そのご家族に大変喜ばれています。また、大きな医療機関がない小さな市町村からも、たくさんの感謝の声が届いています。

今後は、寄贈先への冊子の継続的な補充や、最新の情報に更新された新しい冊子への差し替えなど、切れ目のない支援を続けることが求められています。

これからも、「確かながん情報」を届ける活動に、皆さまのご支援をお願いいたします。



国立がん研究センターは、皆さまからのご寄付で全国の図書館に信頼できるがんの冊子をお届けするキャンペーンを行っています。ぜひご協力ください。

国立がん研究センターがん情報サービス ganjoho.jp

● 2020年8月～2021年7月寄贈館：寄贈先の紹介

※一部の図書館を抜粋してご紹介しております。

図書館名	寄贈先の声	開架の様様
<p>北海道●千歳市立図書館</p> <p>ご寄贈いただきましたがん情報ギフトを中心に構成した健康・医療コーナーを設置いたしました。ご利用の皆様がより必要な資料にアクセスしやすいように、がんに関するブックリストもご用意しております。コーナーは医療関係資料棚のすぐそばにございますので、がん以外の病気につきましても、様々な図書をご覧いただけます。いつでも自由に閲覧できますので、どうぞご活用ください。</p>		
<p>北海道●池田町立図書館</p> <p>元々常設していた医療関係の棚に、「がん情報コーナー」を新たに設けました。がんの病気に関する本や闘病記の本をまとめて配置し、頂いたパンフレット等も近くにまとめて配布しています。がんは日本では2人に1人の方がかかるかもしれない病気ということもあり、この展示が、がんについてもっと多くの方に興味や関心、知識を持ってもらえる機会になればと思います。</p>		
<p>岩手県●北上市立中央図書館</p> <p>多く他の方ががんについて正しく知ってもらうため、一般書医学の棚の中に「がん情報ギフト」をはじめとして、がんに関わる資料を集めた「がん情報コーナー」を設置しました。北上市が作成したがん患者支援サービス冊子「がんサポートブックきたかみ」、北上市内のがん患者自助グループのリーフレット等も置いています。これからも各機関と連携して資料の充実と、情報発信を進めて参ります。</p>		
<p>宮城県●蔵王町立図書館</p> <p>当館では、目に触れやすく、手に取りやすいよう、入口左側にある備え付けチラシラックに冊子を集めました。冊子は、図書館だけでなく町の「地域福祉センター」にも設置し、場所を選ばずに情報を得られるよう配慮しています。また、町民検（健）診の時期に合わせ、身体のケアやメンテナンスの本、病気を予防する本など関連本とともに特集展示を企画しています。これからも“気軽に来られるいつもの図書館”だからできることを真摯に考え、利用者の力になりたいと考えています。</p>		
<p>群馬県●藤岡市立図書館</p> <p>藤岡市立図書館では令和2年12月にがん情報ギフトをご寄贈いただき、展示を開始しました。しばらくパネルで展示した後に専用の展示コーナーを設ける予定です。お持ち帰りいただける資料が多くあり、何度も図書館に足を運ぶのが難しい方でも気軽に利用できるのが素晴らしいです。がんの種類ごとに冊子が分かれているのもとても親切だと思います。市民の方々はぜひ一度手に取ってみてください。</p>		

図書館名	寄贈先の声	開架の様様
<p>東京都 ● 立川市中央図書館</p> <p>立川市中央図書館では、参考資料を集めたレファレンス室の入り口前に、がん情報ギフトのコーナーを設置しました。レファレンス室ではこれまでも情報検索講座「健康・医療情報の探し方」を実施したり、医療関係の参考資料を揃えたりしてきました。コーナーの設置を機により多くの方に利用いただけるよう努めてまいります。また、いただいたがんの冊子の一部は地区館でも貸出用の資料として所蔵し、市内全9館のどこでも手にとりいただけるようにしています。</p>		
<p>新潟県 ● 柏崎市立図書館</p> <p>柏崎市立図書館では、医療関連の書棚を健康・医療情報コーナーとしています。2021年3月よりがん情報コーナーを設置しました。「もしもの時のために がんと付き合う人生も考えて 知らないことは調べてみませんか」と呼びかけ、ご寄贈いただいた「がん情報ギフト」とともにがん関連の本も集めて紹介しています。閲覧席からも近く、気軽にパンフレットや本を手に取りご覧いただけます。ぜひご利用ください。</p>		
<p>大阪府 ● 枚方市立楠葉図書館</p> <p>◆今年度(2020年度)の取り組み 図書館が「医」に関する地域の情報拠点となり、地域住民の健康維持への関心の高まりや病気の早期発見に貢献するため、10月に「健康・医療情報コーナー」を開設し、課題解決支援サービスを展開している。さらに利用者(特に高齢者)にとって関心の高い健康・医療に関する講演会を開催する。 ◆この度は、ご寄贈いただき本当にありがとうございました。より一層コーナーの充実、そして利用していただけるよう全集中で取り組んでまいります。</p>		
<p>兵庫県 ● いちかわ図書館</p> <p>いちかわ図書館では、令和2年9月に「がん情報ギフト」を寄贈いただき、がんに関する書籍とともに、特集コーナーに設置しています。「がん情報サービス」のサイトからプリントアウトした三つ折りちらしも加え、充実したコーナーとなりました。「がんは誰にでもなるかもしれない病気なので、身近な図書館で情報を得ることができるのはよいですね。」と、利用者からのお声もありました。「がん情報ギフト」が周知されてきましたら、「医療・健康」の書架に移動する予定です。</p>		
<p>兵庫県 ● 三田市立図書館ウッディタウン分館</p> <p>三田市立図書館ウッディタウン分館では、近年気になるがん情報を利用者の皆さまに気軽にご覧いただけるよう、ご寄贈いただいた「がん情報ギフト」をがんに関連する書籍などと一緒に設置いたしました。カウンター前にあり、わかりやすい位置となっております。ぜひご覧ください。</p>		

図書館名	寄贈先の声	開架の様様
<p>愛媛県 ● 八幡浜市立市民図書館</p> <p>八幡浜市立市民図書館では 2020 年 12 月に寄贈を受け、翌月のイベントコーナーに関連本とともに展示して地元 CATV や SNS などでも周知しました。現在は一般書医療コーナーに移動しています。がん情報ギフトに加え、保健センターと市立病院の協力を得て、市内の検診案内やがん情報サロンなど身近な情報も同時に手に入るようになっています。一部よく持ち帰られている冊子もあり、関心の高さがうかがえます。</p>		
<p>福岡県 ● 宇美町立図書館</p> <p>宇美町立図書館では令和 2 年より健康・医療特集コーナーを設置し、期間ごとにテーマを決め、身近な病気や健康について知るための資料を集めて特集しています。国立がん研究センターがん情報ギフトプロジェクト様より寄贈いただいた「がん情報ギフト」は、健康・医療特集コーナーにて常設させていただき、多くの利用者様にがんについて情報をご提供します。どうぞご活用ください。</p>		
<p>佐賀県 ● 唐津市近代図書館</p> <p>国立がん研究センター様から、がんに関する資料を冊子などにまとめた「がん情報ギフト」をご寄贈いただきました。2021 年 1 月から、当館 2 階に「がん情報コーナー」を設け、「がん情報ギフト」とがんに関する本を展示しております。ぜひ、ご利用ください。</p>		
<p>長崎県 ● 佐世保市立図書館</p> <p>当館では、病気や治療方法などの身近な健康情報から医療・看護関係者向けの専門的な情報まで収集し、4 番医療コーナーで提供しております。2020 年 10 月からコーナー付近に、がんに関するエッセイや市内検診情報などを集めた「がん関連コーナー」を設置しました。資料を手にとられる様子が見受けられ、市民の関心の高さを感じています。このたび寄贈いただいた『がん情報ギフト』もこちらで提供し、今後も信頼できる情報を提供できるよう努めたいと思います。</p>		
<p>宮崎県 ● 宮崎市立図書館</p> <p>当館 1 階に「健康・医療情報コーナー」と「闘病・体験記コーナー」を並べて設置しています。テーマに沿った当館独自の資料紹介リーフレットの配付・展示や保健所をはじめとした各機関と連携した展示を行っています。今回新たに、国立がん研究センターよりご提供いただいた資料を追加いたしました。ぜひ、ご利用ください。</p>		

〈がん情報ギフト連携プロジェクト企画〉

●巡回図書「身近にがんを考える」展示キット

地域の図書館が、がんの情報発信基地としてより充実していく取り組みの一環として、巡回図書「身近にがんを考える」展示キットの企画を開始しました。がんの患者さんが直面する食事、就労、経済面などの生活上の課題について、4つのシナリオをもとに選書しました。シナリオは、「ママ友ががんになったら」、「部下ががんになったら」、「友達ががんになったら」、「おじいちゃんががんになったら」のように、周囲の誰かががん罹患した場合を想定しており、がん罹患していない人にも手に取っていただけるようにしました。本の選定はWeb協働選書プロジェクトが、展示キットに使用したイラスト、popの作成は、実践女子大学図書館ボランティアららすた有志が担当しました。

この企画は北海道と三重県、そして2021年2月からは大阪府でも実施しています。

●巡回順、展示期間と対象施設の一覧

—北海道—

No.	展示期間	施設名	No.	展示期間	施設名
1	2020年4月	函館市中央図書館	6	2020年10月	足寄町図書館
2	2020年6月	新ひだか町図書館	7	2020年11月	新得町図書館
3	2020年7月	市立名寄図書館	8	2021年1月	恵庭市立図書館
4	2020年8月	岩見沢市立図書館	9	2021年2月	滝川市立図書館
5	2020年9月	登別市立図書館	10	2021年3月	美唄市立図書館

登別市立図書館からの報告

- 自館で所蔵していない本で利用者の方がどのような本に興味をもっているのか、潜在的需要がわかりよかったです。(図書館ではあまり購入していない書き込み式のエンディングノートなど) みなさん興味深くご覧になっていました。
- (今後、医療健康分野の展示をするなら) 食事に関する図書の関心が高かったので、食事に特化した展示などでも面白いと思います。ヘルスクエア(健康管理)展示もよいと思いました。



三重県

No.	展示期間	施設名	No.	展示期間	施設名
1	2020年7月	三重県立図書館	5	2021年2月	亀山市立図書館
2	2020年8月	長島輪中図書館	6	2021年6月	伊賀市上野図書館
3	2020年9月	松阪市松阪図書館	7	2021年7月	紀宝町立鶴殿図書館
4	2020年10月	紀北町紀伊長島図書室			

長島輪中図書館からの報告

- 身近に闘病中の方がいらっしゃる方、患者ご本人が熱心に見ていらっしゃいました。カウンターにそれぞれのご事情などを話していかれる方もありました。
- これまで健康教育につながる取り組みは、保健師などに相談しながら独自に取り組んできましたが、このような企画は、図書館の情報発信として自信をもって提供することができるため、機会がありましたら、ぜひ今後も参加させていただきたいと思っております。



大阪府

No.	展示期間	施設名	No.	展示期間	施設名
1	2021年2月	大阪府立中央図書館	8	2021年10月	八尾市立龍華図書館
2	2021年3月	守口市立図書館	9	2021年11月	堺市立西図書館
3	2021年4月	枚方市立楠葉図書館	10	2021年12月	吹田市立健都ライブラリー
4	2021年6月	八尾市立志紀図書館	11	2022年1月	泉大津市立図書館
5	2021年7月	枚方市立中央図書館	12	2022年2月	泉佐野市立中央図書館
6	2021年8月	茨木市立中条図書館	13	2022年3月	大東市立中央図書館
7	2021年9月	泉南市立図書館			

枚方市立楠葉図書館からの報告

- 二つ折りのパネルについては、遠くからでもわかるように立体的（山折り）に吊り下げてみました。
- 「課題解決型図書館」（健康・医療情報コーナー）の取り組みをしている当館としては、この巡回展示は利用者向けには大変良かったと思います。



〈がん情報ギフト連携プロジェクト企画〉

● 図書館・行政・病院の連携による市民への情報提供の充実に向けた取り組み

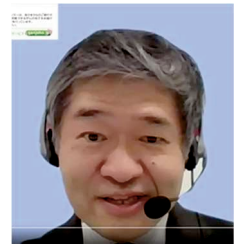
● 図書館-がん相談支援センター連携ワークショップの開催

- 日時：2020年10月9日（金）13時30分～16時30分
- 参加者：112名
- 開催：Zoom ミーティング（オンライン会議）
- 主催：国立がん研究センターがん対策情報センター・大阪府立中央図書館・大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会
- 後援：日本図書館協会、奈良県、兵庫県、京都府、和歌山県、滋賀県

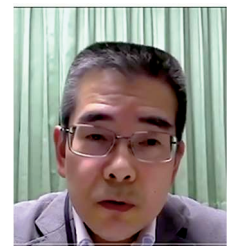
国立がん研究センターでは、がんをはじめとする健康や医療に関する情報を、生活の中で身近に感じられるような環境づくりを目指して、図書館と医療機関が連携したプロジェクトを進めています。その取り組みの一環として、これまで九州・沖縄地区、東北地区、中部地区、中国・四国地区、北海道地区にて開催してきました。

2020年は近畿地区、大阪にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの拡大を踏まえ、Zoomでのオンライン開催となりました。

開催に際して、国立がん研究センター若尾文彦がん対策情報センター長^{*1}、大阪府立中央図書館 西口禎二館長の挨拶でスタートしました。



若尾センター長



西口館長

図書館とがん相談支援センターが連携することの意義と目指すもの

～公共図書館のミッションと大事にしていること～

大阪府立中央図書館 大島桂史

図書館における資料収集では医療従事者向け専門書は高額で一般利用者にとっては難解であること、公立図書館ではエビデンスより多様性にウエイトがおかれているが、図書館員にとってはエビデンスに関するさらなる判断知識が必要であることなどが取り上げられました。さらにカウンターレファレンスでの具体的内容を紹介しつつ、「今回のワークショップでは、医療機関とのコネクションを増やし、レフェラルサービスでの紹介先が増えることを期待している」と結びました。



～がん患者・家族を情報で支えるーがん相談支援センターで大事にしていること～

大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会（大阪国際がんセンター） 池山晴人

がん相談支援センター、がん専門相談員の役割について明快に説明。がんは診断、治療などそれぞれの時期で特徴的な困りごとがあること、がんは要所要所で「決めること」「選ぶこと」など意思決定が求められる病気であり、必要な情報、サポートが求められていることを指摘しました。またその際、がん相談支援センターでは個別のニーズ



や価値観を尊重し、情報を十分に得たうえで選択する権利を尊重、匿名での相談も受けており、医療職との信頼関係を構築できるようサポート、さらには相談の質を保証するために研修受講、がん相談の10の原則などを学び対応していることを語りました。

和歌山での取り組み

～県立図書館の活動が県のがん施策の一環に～

和歌山県立図書館資料課 松田公利

和歌山県立図書館は、和歌山県のがん死亡率の現況とがん対策計画を根拠として、2012年からがん関連図書コーナーを設置していることや、和歌山医療センター病院図書館室、NPO法人いきいき和歌山がんサポート、和歌山県立医科大学附属病院との連携事業について紹介しました。2017年7月には和歌山県立医科大学附属病院との協定書が締結され、2018年には県担当部局・病院・図書館が三位一体となって、県立図書館で健康相談サロンを開催。連携の結果、県立図書館の活動が県がん施策の一環として認識されたことが語られました。



～地形による困難を克服し、県民のがん情報への容易なアクセスに尽力～

和歌山県立医科大学附属病院がん相談支援センター 雑賀祐子



和歌山県立医科大学附属病院がん相談支援センターは、信頼できる情報の拠りどころとして、和歌山県のがん情報「わかやまがんネット」を紹介。また、県内のがん対策に加え、和歌山県が縦に長い地形で新幹線がないため、紀南地方は来院しづらい状況も伝えられました。「まずは院内スタッフにセンターを知ってもらおうよう、名刺サイズの紹介カードを用意して配布。センターの入口には季節のイラスト付きボードを掲げ、入りやすい雰囲気になっています」と、がん相談支援センターを周知する工夫が述べられました。「講演会を開催しても参加者が少なく、開催場所が院内だから参加しづらいのではないかと悩んでいた私たち…。丁度そのとき県立図書館より、『がん図書コーナーを充実させています。講演会の講師派遣をお願いできないか』とのオファーがありました」と連携のきっかけについても語られました。

堺での取り組み

～堺市立総合医療センターがん相談支援センターでの取り組み～

堺市立総合医療センターがん相談支援センター 古谷緑

2014年、国立がん研究センターの呼びかけで始まった、堺市での“がん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト”。拠点病院の相談員として、がんに関するミニレクチャー、個別がん相談コーナーを担当したり、「視覚聴覚障害の患者さんへの対応について考える研修」の企画・運営を担ったことを語りました。また、最近の連携活動として、堺市立西図書館と当院がん相談支援センターで公開講座の共催や合同会議の運営を行っているそうです。連携を通して、医療情報を協働団体各



所で、各所の強みを生かした情報発信が可能になったこと、相互で気軽に相談して問題・課題を解決できる風土ができたことが述べられました。

～視覚障害者のがん情報、医療情報入手をサポート～

堺市立健康福祉プラザ視覚聴覚障害者センター 原田敦史



「障害のある方ががんになった場合には、最新の情報を得にくいという問題があります。電子図書館「サピエ」で情報入手できるが、点字や録音されたがん情報は決して多くありません。また、ボランティアが点訳、録音を行っていますが、発刊から数カ月～1年後の公開となってしまいます」と、現状を報告。また、同センターでは、

図書館、行政、病院が連携し、点訳化、音訳化して様々な媒体でより早い情報発信を行っていることが述べられました。さらに、「障害者が情報の波に取り残されない取り組みが必要であると感じています。また障害者が大きな病になっても、自分自身のために分かる形で医療情報を受け取れるために、医療・福祉・行政の連携が必要です」と強く訴えました。

情報提供：日本癌治療学会認定がんナビゲーター制度について

日本癌治療学会／九州がんセンター 藤也寸志

第2期および第3期がん推進基本計画を踏まえ、がん患者を支援する市井の育成が急務であること、その具体的方策の一つとして期待される「認定がんナビゲーター制度」について説明されました。



認定の流れ、役割、そして現況について語られました。ナビゲーターは医療従事者でなくても申請可能。ナビの役割として重要なことは、“がん相談支援センターにつなぐ”こと。ナビは495人、シニアナビは87人ですが、とりわけ九州では、保険調剤薬局と連携し、多くの薬剤師がナビ資格取得している状況も述べられました。今後の課題として、実地見学のための認定見学施設を増やすこと、その施設でナビと相談員が連携すること、ナビの候補として図書館司書なども期待したい旨を提示。「がん情報を適切にタイムリーに提供するには拠点病院だけではなく、市井の活躍が必要。がん患者や家族と相談支援センターをつなぐ役割としてのナビゲーターの可能性は広い」との期待も語られました。

事例紹介者全員によるディスカッション

パネルディスカッションは、これまでの発表を踏まえ、参加者からチャットで寄せられた質問・疑問に



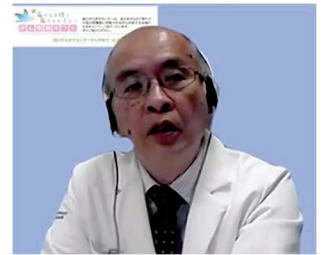
答えるスタイルで展開しました。「和歌山で2017年に図書館と病院が協定に至ったのは画期的。連携するに至ったプロセスをもう少し詳しく聞きたい」「イベントではなく、日常の図書館サービスや情報提供における連携ではどのようなことをしているか」「がんナビゲーターと連携がとりたいたときに、ナビの方を探す方法は?」「図書館と公立の病院の医

療機関の連携がテーマであったが、「図書館と民間の病院との連携の情報があれば教えてほしい」など、積極的に質問があがりました。

ブレイクアウトセッション

参加者が13グループに分かれてのブレイクアウトセッション。「連携のきっかけをどのように作ったらよいか」など、グループ内では積極的に疑問点や意見を出し合い、参加者同士、熱心に情報交換を行いました。終了後には、「お互い（がん相談支援センターと図書館）を知るきっかけになった。双方で顔の見える関係性をさらに築いていきたい」という声も寄せられました。

最後に大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会前部会長・市立東大阪医療センター特任院長 東山聖彦氏が挨拶。「がんで困ったときのため、安心できる連携システムを構築できたらと思います。特に大阪府は多くの人口をかかえています。図書館と相談支援センターが連携して、よりよいがん情報を提供できるよう取り組んでまいりましょう」と結びました。



※1 「がん対策情報センター」と「社会と健康研究センター」は2021年9月1日に統合され、「がん対策研究所」として新たに開設されました。ここでは、ワークショップ開催当時の組織・役職名を記載しております。

● 寄付プロジェクト普及に向けた取り組み

● がん情報ギフトホームページ

がん情報ギフトプロジェクトの概要、最新情報からご支援のお願いにいたるまで、当プロジェクトの動きを明確に、より丁寧にお伝えしてまいります。

つくるを支える 届けるを贈る『がん情報ギフト』プロジェクト

https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/ganjoho_gift/

がん情報ギフト 🔍 検索

● がん情報ギフト「かわら版」の定期配信

当プロジェクトの最新ニュースをはじめ、寄贈先図書館の「がん情報ギフト」セットの活用状況やスタッフの皆さまの声などをお届けする、がん情報ギフト「かわら版」の定期配信を2021年2月よりスタートしました（年4回：2月、5月、8月、11月配信）。

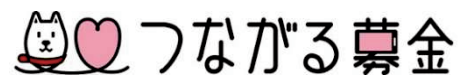
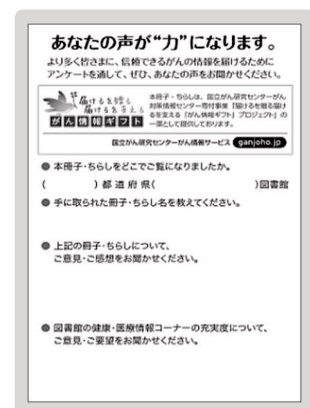
図書館間の情報交換の場として、さらには最寄りのがん相談支援センターや行政等各種機関と“つながるツール”としてご活用いただけます。

● 寄贈先アンケートはがきの導入

「がん情報ギフト」セットの寄贈先図書館にて、がんの冊子やちらしに対するアンケートはがきの配布を始めました。利用者の声から、がんに関するどういった内容の情報を提供していくべきかなどを検討し、信頼できるがん情報の発信に努めていきます。

● ソフトバンク株式会社「つながる募金」への参加

もっと気軽に「がん情報ギフト」にご参加いただけるよう、ソフトバンク社運営の「つながる募金」に加入しました。今後は、携帯電話利用料の支払いやTポイントを利用して募金いただくことが可能です。他の携帯電話会社でも同様の仕組みが導入され次第、順次対応する予定です。



● お問い合わせ

国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報ギフトプロジェクト事務局

電話番号：03-3547-5201（内線1620） FAX 番号：03-3547-8577

Eメール：library_sodan@ncc.go.jp 受付時間：9:00～17:00（土日祝、年末年始を除く）

